

# あさなみ

本庄小学校 学校だより 第12号 令和8年1月28日 文責 西村



新しい年を迎えてからあっという間に1か月が過ぎようとしています。子どもたちは冬休み明けの学習リズムをすっかり取り戻し、本庄フェスタに向けて、意欲的に取り組んでいます。

3学期は一年のまとめの時期でもあり、これまでの学びをしっかりと身に付けていく大切な時期です。子どもたちが自信をもって進級・進学を迎えられるよう、学校全体で支えていきたいと思ひます。

## 安心安全の取組

今年も船木駐在所の松田さんや高島警察署の皆さんにご協力いただき、職員と児童に向けて不審者対応訓練を行いました。

### 「もしもに備える」不審者対応訓練(職員研修)

児童の訓練に先立ち、まず職員研修を行いました。

気づいたこと的交流

「休み時間に子どもたちが遊んでいる中、刃物を持った不審者が侵入し、児童が負傷する」という緊迫した想定で訓練し、その後、どのような対応が適切だったかを話し合いました。



日頃から不審者を学校に入れないことはもちろんですが、『早めの声かけ』『子どもをすぐに校舎内へ入れる』『施錠の徹底』『警察への迅速な通報』といった基本的な対応の大切さを改めて共有しました。

その後、松田さんから、負傷した児童の安全確保、不審者の動線を避けた避難誘導、応急処置用具の準備、不審者の行動把握など、実際の対応について具体的に教えていただきました。

### 「自分の身を守るために…」不審者対応訓練(児童)

校舎の中に急いで入ります。



児童の訓練では、休み時間に6年生が昇降口付近で遊んでいる場面を想定して行いました。他の学年の子どもたちは、いつものように校舎内で過ごしている中での訓練です。

6年担任が不審者に声をかけた際、危険を察知した養護教諭が子どもたちに声をかけ、子どもたちはすぐに校舎内へ入り、静かに身を潜めることができました。全員の避難を確認した後、昇降口を施錠し、緊急放送で状況を伝えました。

他の場所にいた子どもたちも、それぞれの場所で鍵をかけ、静かに身を守る行動ができていました。教師がいない教室でも落ち着いて行動でき、頼もしい姿が見られました。

不審者が確保された後、全ての児童の安全を確認するため、児童はそれぞれ身を隠していた場所から体育館へ移動しました。



たくさんの方に協力いただきました。

体育館では松田さんから、「しっかりと訓練ができていたので、実際の場面でも身を守ることができると励ましの言葉をいただきました。

学校では、昇降口の施錠や来校者の名札着用など、安全を守るための取り組みを続けています。保護者の皆様にも名札着用などでご協力いただき、心より感謝申し上げます。「もしものとき」に備え、子どもたちが安心して過ごせる学校づくりを、これからも皆様とともに進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 子ども達の振り返りより

ピンチになったときは、みをかくして、バレないようにしずかにします。もしだれかがなまえをきいてきたら、なまえはいいません。しらないひとがちかづいてきたら、はやくにげます。(1年児童)

かくれる時は、かぎをしめて、つくえをドアのほうにつけます。ふしんしゃからはなれてからかくれる。「おかしをあげる」といわれてもついていきません。しずかにします。(2年児童)

放送が入ってから待つ時間に、遊んだり話したくなったりしたけれど、しずかに待つことが大切だと思いました。これからも、一人になってもあせらずにがんばりたいと思いました。(3年児童)

(知らない人がいたら)遠くからあいさつをして、あやしかったら大人に知らせます。安全が確保できるまで、自分で身をかくすことが一番大切だと思いました。(4年児童)

初めて体育館でかくれたので、体育館でのかくれ方を、ひなんくんれんのときにできてよかったと思います。不しん者に「おはようございます」と言って、返事がなかったらあやしんでいいと松田さんが言っていたので、そのようにしたいと思いました。(5年児童)

初めて目の前に知らない人が来てこわかったけれど、先生があいさつをした時に返事がなかったため、すぐに保健室ににげこんで静かにしゃがんでいました。この訓練をして、ふしんしゃだと思ったらすぐに逃げることや、静かにかくれることが大切だと思いました。(6年児童)

## 多様性を尊重する心を育てる

社会には、様々な人が暮らしています。本校では、子どもたちがその多様性を自然に受けとめ、互いを大切にしながら生きていけるような学びを進めています。

### 自分も相手も大切にできる力を…(包括的性教育)

12月から2月にかけて、本校では高島市養護教諭研究会が研究を進めている「包括的性教育」の一環として、子どもたちが発達段階に応じてさまざまな学びを行います。



包括的性教育とは、体のことだけでなく、心の成長、命の大切さ、人との関わり、そして多様な性のあり方を含めた幅広い学びです。「性」を特別なものとして扱

うのではなく、「自分と相手を大切にしながら生きる力を育てる学び」として位置づけています。

学年ごとの学びの例としては、次のような内容があります。

1,2年生では、自分の体には「大切に守るところ」があること、いやな気持ちになったら大人に伝えてよいことを、絵本やイラストを使ってやさしく学びます。

3年生では、無意識に培われたジェンダー観について考え、4年生では第二次性徴について理解を深めます。

5年生では、犯罪から身を守る方法、とくにSNSに潜む危険性について学び、6年生では、性のあり方には幅があること、誰もが自分らしく生きてよいことを学びます。

今月末には、看護師としての経験を生かし「生きる力としての『生』教育」を伝えておられる ばらいゆかさんをお招きし、お話を聞く予定です。

子どもたちが「自分は大切な存在だ」と感じること、そして周りの人の大切さにも気づくことそんな学びの時間になると思います。

包括的性教育の取り組みが、子どもたちの『安心して生きる力』につながることを願っています。

### ともに生きる力を育てる(福祉教育)

4年生では、総合的な学習の時間に、高島市の点字グループ「ゆび」さんから点字を教えてくださいました。

点字の仕組みを知り、目の不自由な方が日常を過ごす上で、どんな工夫や支えがあるのかを学びました。

本来は、実際に目の不自由な方と社会福祉協議会の方に来ていただき、休み時間や給食や掃除の時間を一緒に過ごしながら学ぶ予定もありましたが、大雪のため延期となりました。

子どもたちは、「次に来てくださる日」を楽しみに待っています。



### 一緒に学ぶ 手話の時間

今年度、1~3年生の子どもたちが、手話を教えていただいています。

指文字や簡単なあいさつ、歌に手話をつけて表現する活動など、子どもたちはいつも目を輝かせながら取り組んでいます。

「もっと知りたい!」「やってみたい!」という気持ちが高まり、学級の中には『手話係』をつくって、帰りの会で練習したりしているところもあるようです。

様々な学年との温かい交流を通して、言葉だけに頼らないコミュニケーションの大切さや、人と関わる楽しさを感じています。

### 2月の行事予定 ※変更となる場合もあります

※スキー教室のため、4日(水)は、通常日課とし、その代わりに

2日(月)を水曜日課とします。どうぞよろしくお願いいたします。

2日(月)	南部いちご会(こあゆ学級) ふれあい週間(~6日(金)まで) JRC活動 放課後図書活動(1~3年) 水曜日課 1~3年 14:30下校、4~6年 14:50下校
3日(火)	6年ひびきあい活動、 安曇川中学校入学説明会(保護者と帰宅)
4日(水)	4~6年スキー教室 15:35下校(予備日2日(木)) 1~3年通常日課 14:45下校 フッ化物洗口(1~3年)
5日(木)	次年度入学生体験入学、国際理解教育(6年)
13日(金)	R8年度第1回PTA地域員会(新旧役員引継ぎ)
16日(月)	家庭学習強化週間(~22日(日))、安全点検日
17日(火)	全校なわとび大会
18日(水)	クラブ活動(4~6年)クラブ見学(3年) 放課後図書活動(1,2年)、フッ化物洗口
19日(木)	訪問貸出、ぶっくママ
25日(水)	フッ化物洗口 クラブ活動 放課後図書活動(手話)
26日(木)	ぶっくママ

### 3月の行事予定 ※変更となる場合もあります

3日(火)	6年生を送る会 学校運営協議会
4日(水)	フッ化物洗口 同窓会入会式
5日(木)	訪問貸出(図書返却日、回収のみ)
10日(火)	6年生謝恩会 1~5年 14:45下校 6年 15:35下校
11日(水)	フッ化物洗口 JRC活動 放課後図書活動(1~3年)
12日(木)	大掃除 13:20~13:40 分団集会
18日(水)	卒業式前日準備(4,5年)特別日課 1~3年、6年 13:00下校 4,5年 14:45下校
19日(木)	卒業式 1~5年 11:20下校 6年生保護者と下校
23日(月)	給食終了 1~5年 14:45下校
24日(火)	修了式 1~5年 11:20下校